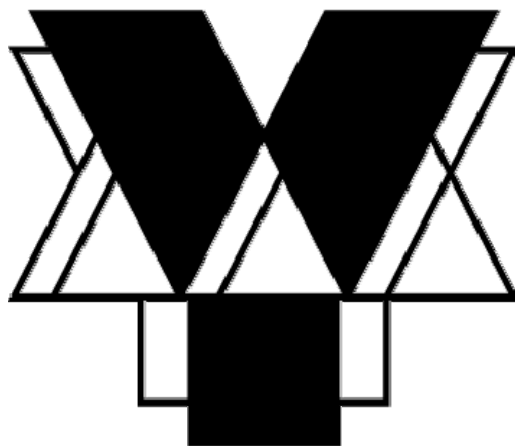


平成24年度

# 事業計画書



2012（平成24）年3月

**公益財団法人横浜市体育協会**

## 【 目 次 】

I 事業方針 .....	1
II 重点項目 .....	1
主な新規・重点事業等 .....	1
1 地域スポーツ振興部重点事業 .....	1
2 スポーツ事業部重点事業 .....	2
3 施設経営部重点事業 .....	2
4 新横浜公園重点事業 .....	2
5 スポーツ医科学センター重点事業 .....	3
6 経営企画部重点事業 .....	3
7 総務部重点事業 .....	4
III 事業計画 .....	4
1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】 .....	4
2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】 .....	6
3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】 .....	7
4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】 .....	9
5 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】 .....	10
6 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】 .....	11
7 スポーツ団体等育成事業・協会運営事業【定款第4条第1項第1号、第6号】 .....	18
IV 協約 .....	20
V 中期経営計画 .....	21

## I 事業方針

当協会は、平成 23 年 7 月 1 日より、公益財団法人へと移行し、横浜市のスポーツ振興に関する基本施策実現の中心的な担い手として役割を果たすとともに、これまで以上に公益的事業に取り組んでまいります。

厳しい社会状況の中でも、自主・自立化に向けた自主財源の確保や、すべての利用者・参加者に感動・満足を提供するため、継続的な事業改善を実施し、日頃から質の向上に努めていきます。

また、運営組織の効率化や組織力の強化を図り、協会理念である「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」に向けて、職員一人ひとりが知恵を絞り、市体協の持つ全ての力を結集し、積極的に取り組んでいきます。

## II 重点項目

### 主な新規・重点事業等

平成 24 年度は、横浜市レクリエーション協会との事業統合を機に、これまで以上にスポーツ・レクリエーション活動の拡充を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組んでいきます。

また、各部においては、下記事業を重点事業と設定し、目標達成に向けて取り組みます。

### 1 地域スポーツ振興部重点事業

地域において主体的にスポーツに取り組む団体・グループを拡大していくため、支援を行うとともに、市民がいつでも気軽にスポーツや健康づくりに親しむことができるよう、ウォーキング事業等の拡大を図ります。

また、横浜市が進める「100 万人の健康づくり」の主体的な担い手として、積極的に健康づくり事業を推進します。

#### (1)地域スポーツ団体の支援・拡大

各区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、学校や区民利用施設などでスポーツや健康づくり活動に主体的に取り組む団体を支援するとともに、団体数の拡大を図ります。

#### (2)ウォーキングの拡大

市民が気軽にウォーキングに取り組むことができるよう、ウォーキングマップやイベント情報の整備を進めます。また、スポーツセンターをウォーキング等の健康づくり拠点として機能を高め、地域の人材やウォーキング関係団体等と連携協力し講習会や教室などの自主事業を積極的に実施します。

#### (3)健康づくり事業の推進

各区の福祉保健センターや包括支援センターなどが実施する地域活動を主体とした高齢者の介護予防事業等に積極的に協力していきます。また、歩行姿勢のチェックや体力測定、健康づくり講演会等も実施してまいります。

## 2 スポーツ事業部重点事業

スポーツ・レクリエーションイベント・大会等の開催を通じて、加盟する競技種目団体、地域団体、学校団体及びレクリエーション団体を支援し、市民がスポーツやレクリエーションに親しむ機会を多く提供します。

### (1) スポーツ・レクリエーションイベント・大会の企画・実施

横浜マラソンやスポーツ・レクリエーションフェスティバルなど各種事業を積極的かつ効果的に推進するとともに、トライアスロン最高峰の国際大会として位置づけられる「2012 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」として、トップアスリートの大会と併せ一般参加の大会も開催します。

### (2) 横浜とスポーツの魅力を発信

スポーツ情報誌「SPORTS よこはま」の発行、スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」による情報提供と、スポーツ情報サイトを活用してコンテンツの充実に努め、横浜とスポーツの魅力を広く市民へ周知を図ります。

## 3 施設経営部重点事業

所管する横浜国際プールや横浜文化体育館等を安全で快適な施設として運営するとともに、これらの施設でトップアスリートの試合を観戦する機会を提供し、横浜市のスポーツ振興に寄与していきます。

### (1) スポーツ施設の効率的な運営

施設の運営に際し、効率的・効果的な運営を図り、収支の均衡に努めていきます。横浜国際プールは、共同事業体を組む企業と連携して収益増を図るとともに、特に、旧余熱プール、MM スポーツパーク等については、今後のあり方を含め市民局と連携して検討し、経営改善に努めていきます。

### (2) 自主財源の確保

指定管理施設については、付加価値の高い教室事業等の自主事業を展開し、その他の所管施設においては、市民のニーズに応じた事業を展開し、自主財源のさらなる確保に努めます。

### (3) 青少年施設の次期指定管理等に向けた取り組み

少年自然の家（赤城林間学園、南伊豆臨海学園）の指定管理期間が 25 年度まで、道志村（山梨県）の野外活動施設の指定管理期間は 24 年度までとなっています。少年自然の家では、次期の指定管理に向けた提案準備を進めます。また、道志村の施設は、横浜市のあり方検討での見直しが進んでおり、これらの動向に対応した取り組みを進めます。

## 4 新横浜公園重点事業

平成 24 年度は第 2 期指定管理の中間年の 3 年目に当たります。新横浜公園指定管理業務の円滑な遂行と次期指定管理者の継続を図るために、管理局が取組む主な重点事業は次のとおりです。

#### (1)お客様満足度向上に配慮した管理運営

周辺住民が参加する市民活動を促進して、地域との連携を強化します。また、利用者アンケートの他に、周辺自治会町内会へアンケートを実施して、市民ニーズを把握します。

#### (2)安全安心、環境に配慮した施設運営

積極的な修繕の実施により施設の長寿命化に寄与するとともに、全職員が一丸となって事故や災害等の有事に備える職場風土を構築するとともに、脱温暖化などの環境に配慮した取組みを充実させます。

#### (3)指定管理提案事項の早期実現と次期提案の準備

指定管理提案書に記載した項目の早期実現を目指し、事業の充実などを推進します。また、次期提案に向けたプロジェクトチームを発足します。

### 5 スポーツ医科学センター重点事業

スポーツ医科学に関する専門的知識に基づいた市民の健康づくりの推進・スポーツの振興・競技選手の競技力の向上を目的に、平成 24 年度は、下記事業を重点事業と設定し、事業運営を行います。

#### (1)スポーツ医科学センターの専門性を活かした他部署・外部との連携

ウォーキングプロジェクト・健康づくり事業課との連携による指導者向けのための支援。中学校と連携によるスポーツ障害予防研修（教員・生徒向け）および学校で導入できる簡易チェックプログラムの開発。スポーツ医会との連携による医事相談（スポーツセンターにて）などを実施します。

#### (2)スポーツ医科学センター事業成果のPR 活動

連携担当職員の SPS 体験、職員が各種スポーツイベント会場などに訪問する「出張相談」、運動教室の選手が参加する水泳大会や体操発表会の実施、「横浜ビー・コルセアーズ」へのメディカルサポート、各種測定で蓄積した知見の Web ページへの掲載など、様々な機会を通じて当センターの PR を実施します。

#### (3)MEC(メディカルエクササイズコース)のプログラム更新

クリニック(特にリハビリテーション科)・トレーニングルームとの連携を強化し、個人の症状にあわせた指導を行うなど利用者ニーズに合わせたプログラムを作ります。さらに、整形外科的疾患に関するプログラムを「肩」、「腰」、「膝」に分類し、効果的な指導につなげます。

#### (4)診療時間の延長

指定管理事業計画書に記載の「クリニックの診療時間延長」に対応するため、関連する職種でのプロジェクトの実施、聖マリアンナ医科大学との連携などにより、診療時間延長の検討を行い、診療体制の充実を図ります。

### 6 経営企画部重点事業

(公財)横浜市体育協会の適正な業務の推進に取り組みます。そのため、指定管理施設の第三者評価を実施します。

### (1) 第三者評価の実施

指定管理施設のサービス品質を高めるために第三者評価を導入し、次期指定管理提案に向けた進行管理を始めます。

## 7 総務部重点事業

(公財)横浜市体育協会の円滑な組織運営に取り組みます。そのため人材育成のための職員研修を計画的に実施し、組織力の向上を図ります。また、賛助会員の拡大事業を通じて、体育協会に対する理解と支援を広げていきます。

### (1) 人材育成の推進による組織力の向上

職員の人材育成を推進し、組織力の向上を図るため、課長を対象としたマネジメント研修や、職員に対する実務研修を企画実施します。

### (2) 賛助会員の拡大

賛助会員について、経営企画課と連携し、用途、特典、税控除の広報等の仕組みを充実し、会員の増加を図ります。

## Ⅲ 事業計画

### 1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

#### (1) 競技スポーツ助成事業

各競技会・大会等の開催、種目団体・地域団体の活動に対して必要な支援・助成をします。

##### ア 都市間交流スポーツ大会

(開催地:神戸 実施競技数:9 競技 参加者数:500人)

##### イ 市民体育大会(実施競技数:33 競技 参加者数:35,000人)

##### ウ 市民マスタースポーツ大会(実施競技数:23 競技 参加者数:6,400人)

##### エ 各区交流スポーツ大会(実施競技数:9 競技 参加者数:1,800人)

##### オ 地元プロスポーツチームの支援(横浜熱闘倶楽部他)

##### カ 横浜市ジュニア競技力向上事業(実施事業数:16 競技 参加者数:1,500人)

#### (2) スポーツ大会支援事業

競技会・大会の開催を円滑に行うため、大会運営組織に参画して支援活動を行います。

ア 第 32 回横浜マラソン大会

開催日：平成 24 年 12 月 2 日（日）開催予定  
会場：山下公園前スタート、山下ふ頭フィニッシュ  
種目：ハーフマラソン・10Km の部・車いす 12.7km の部  
参加者数：8,500 人

イ 2012 世界トライアスロンシリーズ横浜大会(WTS)

トライアスロン最高峰の国際大会  
横浜・山下公園をスタート、フィニッシュにした特設コースで実施

① エリートの一部(トップアスリートの大会)

開催日：平成 24 年 9 月 29 日（土）開催予定  
参加者数：130 名

② エイジの一部(一般参加の大会)

開催日：平成 24 年 9 月 30 日（日）開催予定  
参加者数：1,400 名

ウ 第 3 回横浜シーサイドトライアスロン大会

開催日：平成 24 年 7 月 8 日（日）開催予定  
会場：横浜市海の公園、横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺  
参加者数：1,000 名

(3)スポーツ大会派遣事業

競技会・大会への選手派遣、選手選考に必要な支援・助成をします。

ア 第 67 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会

開催日：平成 25 年 2 月 開催予定  
会場：秦野～相模湖  
参加者数：横浜市選手団 20 人、横浜市走路員 20 人

イ 全国健康福祉祭大会(ねんりんピック)参加選手選考

開催日：平成 24 年 6 月 10 日(日)までに実施予定  
会場：市内 5 会場  
実施競技種目：5 競技  
参加者数：180 人

(4)競技選手の個別支援

国体参加選手のメディカルチェック、競技選手の S P S(スポーツ版人間ドック)・体力測定・スキルチェック、スポーツによる障害の治療、リハビリテーション、予防等を行います。

ア SPS・体力測定・スキルチェック

開催日：年間を通じて実施

会場：横浜市スポーツ医科学センター

イ スポーツ障害の治療・リハビリテーション・予防

開催日：年間を通じて外来診療等で実施

会場：横浜市スポーツ医科学センター

## 2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

### (1) 地域スポーツ支援事業の実施

ア 区体育協会等の地域団体との連携の強化

区体育協会をはじめとする地域のスポーツ関連団体との連携の強化や支援を実施し、地域でのスポーツ活動の活性化を進めます。

イ 総合型地域スポーツクラブ育成事業の実施

クラブの設立準備や運営・育成への助成とクラブが安定的に活動するための支援を行います。

また、「横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」と連携し、市域でのクラブ支援や啓発活動を展開することで、加盟クラブの事業活性化や総合型地域スポーツクラブの認知度向上を目指します。

ウ さわやかスポーツの実施(80事業:参加人数 202,000名)

子どもから高齢者まで、誰でも気軽に行えるさわやかスポーツ(ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ等)の普及事業を全区で展開し、ニュースポーツの普及・推進を図るとともに、スポーツ実施にかかるノーマライゼーションを推進します。

また、市民にニュースポーツを体験する機会を提供するため全市的な「さわやかスポーツフェスティバル」を開催します。

エ エンジョイスポーツ事業(教室数:17教室 参加人数:2,300名)

市民に多くの競技種目に親んでもらうため、加盟競技団体の主管により初心者向けのスポーツ教室を開催します。

オ 10月の体育の日を中心とした横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催(会場:市内36か所、参加人数:100,000名)

各区スポーツセンター、市内野外活動施設及び大規模施設等において、市民が気軽に各種スポーツに参加できる「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2012」を開催します。

### (2) スポーツイベントの実施

スポーツの普及振興を図るため、各種スポーツイベントを開催します。



## ア ヨコハマ・スポーツ・ワールド2012の開催

### ①フィットネスヨコハマ 2012

開催日 : 平成 24 年 5 月 5 日 (土・祝)

会場 : パシフィコ横浜国立大ホール

参加者数 : 7,000 名

### ②ヨコハマ・ワールド・ウォーク 2012

開催日 : 平成 24 年 5 月 5 日(土・祝)

コース : みなとみらい 21、山手、山下地区

スタート及びゴール : みなとみらい線馬車道駅

参加者数 : 5,000 名

## イ YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ

開催日 : 平成 24 年 7 月 28 日(土)、29 日(日)、8 月 4 日(土)、5 日(日)

種目 : ビーチバレー、ビーチサッカー、ビーチハンドボール、ビーチテニス、  
ビーチ綱引き

会場 : 横浜市金沢区海の公園ビーチ

参加者数 : 3,900 名

## ウ よこはましティウォーク(予定)

開催日 : 平成 25 年 3 月 17 日 (日)

種目 : ウォーキング (10km・20km・30km コース)

スタート及びゴール : みなとみらい線馬車道駅

参加者数 : 3,000 名

## 3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】

### (1)子どもの体力向上事業

地域スポーツ団体や地域のボランティア等と協力し、学校等の身近な場所で子どもの体力向上支援の事業を実施します。

#### ア 子どもの体力向上支援(128 団体)

保護者や地域指導者などと協力し、学校等の施設を活用しながら、幼児から小学校児童向けの体力向上支援や保護者等を対象とした運動啓発などの子どもの体力向上に資する事業を展開します。

#### イ スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団を対象に、研修・交流事業、顕彰事業、市民向け事業、日本及び県スポーツ少年団主催のスポーツ交流大会への派遣事業等を行います。

また、日独スポーツ少年団同時交流事業として、ドイツ少年団の受入を実施します。

ウ ぜん息児童の健康づくり事業(サマースクール 参加児童数;112人、スポーツ医学センターぜん息児水泳教室 参加児童数;30人)

ぜんそくの児童を対象としたサマースクール事業を、医師会、小学校等の協力を得て実施します。3泊4日の宿泊事業で、生活習慣の見直しにより児童が自ら健康を意識し運動の必要性を喚起するプログラムを実施します。

また、スポーツ医学センタープールでは、ぜん息児水泳教室を実施します。

エ よこはまこどもマリンスクール(参加児童数;176人)

横浜市内在住、在学の小学4～6年生を対象とし、帆船日本丸や南伊豆臨海学園などの海に関する施設を活用して、日常とは異なる集団生活による船員活動体験や海や船に関する学習、水泳・カッター(短艇)訓練を通じて心身をきたえ、やさしく、強い“はまっ子”を育てることを目的として実施します。

## (2)健康づくり支援事業

超高齢社会の中、元気な高齢者を増やし、高齢になっても生き生きとした生活を維持することができる環境を整え、スポーツ・運動を習慣化するために各種事業を実施します。

ア 介護予防関連事業(226事業)

健康福祉局や各区福祉保健センター、包括支援センターが実施する高齢者がいつまでもいきいきと自立して生活できることを目的とした介護予防事業に、体力向上プログラム事業の受託、運動プログラムへの指導者派遣、介護予防事業指導者研修等を実施し、協力します。

イ 健康体力づくり派遣指導事業(180事業 参加者 5,900名)

地域における健康づくりを目的とした、各区福祉保健センターや地域ケアプラザ及び地域団体などからの運動指導依頼に応え、また、健康福祉局や横浜市老人クラブ連合会が主催している、高齢者向けの指導者養成講座に職員を派遣し、運動指導等を実施します。

ウ 健康づくり教材開発普及事業

市民の健康づくりの意欲向上を図ることを目的として、「はまちゃん体操」等と同様に体協オリジナル教材を開発し、普及啓発事業を実施します。

エ 体力測定事業(100事業 参加者 2,000名)

区役所、地域施設、地域団体等の主催する「スポーツ事業」「健康づくり事業」において、体力測定や歩行フォームチェックなどを行い、アドバイスを通じて、地域の健康づくりの啓発を実施します。

### (3)生活習慣病予防事業

メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防のための生活指導、栄養指導、運動等を行い、運動習慣をつけることにより健康を維持、増進させます。

#### ア メタボリックシンドローム予防事業

「メディカルエクササイズコース」、「特定健康診査・特定保健指導」、「減量教室」  
会場：横浜市スポーツ医科学センター

#### イ ロコモティブシンドローム予防事業

「メディカルエクササイズコース」、「ロコモ(歩行バランス)教室」  
会場：横浜市スポーツ医科学センター

## 4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

### (1)地域スポーツ指導者養成・活用事業の実施

地域や各種目で活動できるスポーツ指導者を養成するために、各種講座や研修会を開催します。

#### ア 横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座の開催

講習会名	実施期間	会場	参加者数
健康・体づくりインストラクター養成講座	7月～1月	スポーツ医科学センター他	40人
地域クラブアシスタントマネージャー養成講座 (日体協公認)	6月～1月	スポーツ医科学センター他	40人
アウトドアルーダー(野外活動指導者養成)講座	6月～1月	道志他	30人
レクリエーション人材養成講座	5月～1月	体協地下会議室他	30人
スポーツリーダー講習会(日体協公認)	6月	スポーツ医科学センター	100人
地域スポーツ研修	1月	スポーツ医科学センター	100人

#### イ 地域スポーツ指導者の活動促進

地域のスポーツ指導者を活用する「横浜市スポーツ人材活用システム」を引き続き運用し、地域における多様なスポーツ活動や健康維持・増進のための活動を積極的に活用します。

また、登録者の指導技術向上のためのスキルアップ研修を定期的実施し、地域での活動の場を拡げながらシステムを運用します。

### (2)指導者技術向上補助事業の実施

競技スポーツの指導技術・審判技術などの向上を目的に、横浜市体育協会加盟の種目団体が開催する研修会等に、経費の一部を助成します。

### (3)ジュニア競技力向上事業(再掲)

ジュニアスポーツ選手の養成のための強化練習やスポーツ医科学に基づくプログラムを作成を行います。また、競技指導者の能力向上を図るためスポーツ医科学の知識を備えたジュニアスポーツ指導者の養成を図ります。

#### ○ジュニア競技力向上事業の実施

- ・ 合同強化練習の推進
- ・ ジュニア医科学マルチサポートの実施
- ・ スポーツ医科学研修の開催

## 5 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】

### (1)スポーツ情報の収集・提供

#### ア スポーツ情報サイトの運営・拡充

スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」により、横浜市内の最新のスポーツ・レクリエーション情報を幅広く収集・掲載・提供します。

また、市内で実施される事業と連動したサイト企画やアンケートを年2回以上実施し、提供している情報の到達度を把握します。(アクセス件数 9,500,000件)

#### ① 「読む」コンテンツ

スポーツ情報課職員による取材や、市体協各部署・関係団体・市民からの投稿によりハマスポニュースを配信するほか、著名人コラム、市体協イメージキャラクターによるスポーツ漫画などを掲載し、市民・利用者にスポーツの楽しさや健康維持の大切さを伝えるとともに、スポーツに触れるきっかけづくりを行います。

また、スポーツ情報誌に掲載している特集記事は英語化し、スポーツ情報サイト上で発信します。

#### ② 「健康づくり」コンテンツ

ハマスポエクササイズによる動画配信、画面上でのトレーニングレッスンや閲覧者の運動記録管理、ウォーキングコースや健康遊具設置公園の案内などを行うことで、サイトを通じた利用者の健康づくり支援を行います。

#### ③ 「探す」コンテンツ

市内のスポーツ施設、サークル、教室・大会等の案内や大会結果、指導者紹介などの情報を、データベース化し、利用者が地図やカレンダーなどを使って検索できるようにします。また、PDFファイル等を掲載することで、特にホームページを持っていないスポーツ団体等の情報について、市民に対する情報提供内容の充実を図ります。

#### ④ 「仲間づくり」コンテンツ

対戦チームを探ることができるハマスポマッチメイクや、読者間でのコミュニティづくりを促進するSNS（ソーシャルネットワークサービス）など、サイト上での利用者同士の交流の場を提供します。

#### イ スポーツ情報誌の発行

老若男女問わず易しく読めるスポーツ情報誌「SPORTSよこはま」を隔月6回（1号あたり30,000部、16ページ(通常号)／5回、24ページ（特別号）／1回）発行し、市内各駅や公共施設等で無料配布します。特に、市民に役立つスポーツ情報や、季節に即した健康増進のためのテーマに基づいて、編集・発行します。

##### ◆掲載内容

時節や流行に則した特集記事の掲載、市内プロスポーツチームの選手や関連イベントの紹介  
スポーツ医科学センターによる健康関連情報の掲載、読者参加型企画の連載、  
地域スポーツ活動や生涯スポーツへの取り組みの紹介、市体協関連イベントの紹介や報告 等

### (2)スポーツに関する調査研究

社会環境の変化に伴う市民のスポーツ活動の動向や意義を調査・分析し、ニーズの把握や新たなニーズを創り出すなど、今後のスポーツ施策の検討を進めるため、市民スポーツ意識調査等のスポーツに関係した調査・研究を行います。

### (3)スポーツ医科学に関する情報の収集・提供及び調査研究

スポーツ医科学に関する情報の収集を行い、「ハマスポどっとコム」や「SPORTSよこはま」により市民へ提供します。また、横浜市スポーツ医科学センターでは、スポーツ障害と予防等の研究及び研究の成果を学会等でも発表してきます。

## 6 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】

### (1)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場の提供事業

スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場を提供するため、次の施設について安全・安心な管理運営を行います。

#### ア 横浜市のスポーツ施設・スポーツ医科学施設の管理運営

横浜市スポーツセンター（15施設）、横浜国際プール、横浜文化体育館、横浜市平沼記念体育館、横浜市青少年野外活動センター（4施設）、横浜市少年自然の家（2施設）、新横浜公園/日産スタジアム、横浜市スポーツ医科学センター

## イ その他のスポーツ施設

屋外プール（2施設）、屋内プール（6施設）、テニスガーデン（3施設）、鶴見川漕艇場、横浜みなとみらいスポーツパーク、たきがしら会館

## (2)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる機会の提供事業

横浜市からの指定を受けたスポーツ施設やスポーツ医科学施設及びその他のスポーツ施設において誰でも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできるプログラムを提供します。

### ア 横浜市各区スポーツセンター

横浜市各区スポーツセンター15館において、区民が身近なところで気軽にスポーツを楽しみ、健康の保持増進に努めることのできるよう、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

第2期指定管理者として施設の立地環境・区民ニーズ等を踏まえた事業を展開し、コスト削減を図るとともに、サービスの向上や効率的な広報活動により市民のスポーツ実施率の向上を図っていきます。

### ○教室事業

教室プログラムの充実を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした教室展開と、年代別に多種目の教室を開催し、子育て世代がより参加しやすいよう託児サービス付の教室も全施設で開催します。

### イ 横浜国際プール

国際公認50mプールやダイビングプール（冬期は床転換しスポーツフロアとして使用）、4,000席の観客席、大型映像装置、サブプール、体育室、トレーニング室等を備えた横浜市が世界に誇る大規模スポーツ施設です。平成23年度から当協会と㈱コナミススポーツ&ライフ、㈱トーリツの3者による共同事業体を組織し指定管理を受けています。

平成24年度は5月～10月にサブプールの改修工事が予定され、メイン・サブの両プールの使用が必要な大規模な水泳大会の開催は困難ですが、冬期のスポーツフロアではbjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ）のチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のホームゲームや実業団テニスの日本リーグの決勝リーグなどの開催も予定されています。

また、25年度以降の大規模水泳大会等誘致に向けた活動にも努めていきます。

さらに、プールやトレーニング室等を個人や団体で利用いただくとともに、スポーツ系・文化系の各種教室も数多く開催し、多くの市民に親しまれ利用いただける施設として運営していきます。

### ウ 横浜文化体育館

関内駅から徒歩で5分と交通の便が良く、アリーナ、舞台、観客席等を備えた市民に馴染みの深い施設です。プロからアマチュア、子供から高齢者まで幅

広い市民の方々にスポーツ大会や各種イベント等に利用いただき、横浜市のスポーツや文化の振興に寄与できるような施設運営を目指します。

また、今年5月には開館50周年を迎えるため、利用者の方々をはじめ関係者の協力をいただき50周年記念事業を展開します。

#### ○大会・イベント

今年度は「第27回皇后盃全日本女子柔道選手権大会」や「第43回全国中学校卓球大会」、「JOCジュニアオリンピックカップ；全日本ジュニアレスリング選手権大会、全日本ジュニア体操選手権大会」などの全国規模の大会から、市民レベルの参加型の大会や横浜市中学校総合体育大会各種目競技など幅広いスポーツ大会に利用いただきます。

また、「bjリーグ」（日本プロバスケットボールリーグ）の「横浜ビー・コルセアーズ」のゲームや、子供達に人気が高いロシアの「国立ポリショイサーカス」、横浜市商店街総連合会が主催する「ハートフルコンサート」などの興行にも利用いただく予定です。

#### ○教室事業

年3期に分けて実施する「定期教室」、当日受付で行う「特別教室」、各種目協会などと連携し、種目特性を活かして行う「各種スポーツ教室」、横浜熱闘倶楽部と連携した教室などのほか、絵画、書道、英会話等のカルチャー教室等、アンチ・エイジング応援プログラムを実施し、幅広い市民ニーズに応えられる教室事業を行います。

#### エ 横浜市平沼記念体育館

三ツ沢公園内に建つ平沼記念体育館の管理運営を行います。

264の常設観覧席を有する特徴を生かし、各種スポーツ団体やスポーツ大会の利用を促進します。

また、体育室や会議室にて、個人で参加できるスポーツ教室を開催し、市民のニーズに即したスポーツ事業を展開します。

故平沼亮三氏が生前にスポーツ界で大いに貢献された業績を顕彰する資料を保存する資料室や展望塔については、より一層のPR強化を行い、多数の市民の方々に親しみを持ってもらえる施設づくりを進めます。

#### オ 横浜市青少年野外活動センター

市内の三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）及びこども自然公園（旭区）の野外活動センターは、この3施設一体で管理することで指定管理施設を受けています。そこで、気軽に野外活動を楽しむための情報提供やプログラム開発を3施設で連携し、野外活動の普及振興を通して青少年の健全育成を推進していきます。また、これらの市内施設では、託児サークル、地域グループや家族利用に開放するなどの利用促進を図ります。

市外の道志（山梨県）のセンターでは道志村関係機関との連携、協働による広報・PRを行い、青少年や幅広い市民層に自然環境を生かした自然体験やスポーツの場を提供していきます。

#### ○自主事業

幼児から大人までの幅広い市民層に対応した組織キャンプやファミリーキャンプ、スポーツ・文化活動等の野外活動教室の開催、野外炊事用の食材販売、野外炊事用具やキャンプ用具などのレンタルを行い、利用促進及び利便性の向上を図ります。

#### カ 横浜市少年自然の家

赤城林間学園（群馬県昭和村）及び南伊豆臨海学園（静岡県南伊豆町）では、山や海などの恵まれた自然環境を生かした自然体験プログラムや集団宿泊体験の場を提供し、野外活動の普及振興を通して青少年の健全育成を図ります。

また、赤城林間学園では、地元昭和村との連携により周辺に広がる農地での農業体験を提供するなど体験プログラムを、南伊豆臨海学園ではカッターやシーカヤックなど海での野外活動プログラムを充実し、提供していきます。

#### ○自主事業

子供を対象としたキャンプやファミリーキャンプなど野外活動教室の開催をはじめ、スポーツ合宿や家族・グループへ宿泊施設としてもこの学園を開放し、地元食材を生かした特別料理を提供したり、釣り具やソリなどのレクリエーション物品の貸出しなどをしたりして、学園の利用促進を図ります。

#### キ 新横浜公園/日産スタジアム

横浜市体育協会・横浜マリノス・管理JV（ハリマビシステム他4社共同企業体）の3者が共同事業体を構成し、日産スタジアムを含む新横浜公園の管理運営を行います。

市民に夢と感動を与えることができる国際大会を誘致するだけでなく、公園内の各施設を活用し、地域スポーツの振興や市民の健康・体力増進に貢献すると共に、フリーマーケットでのカーボンオフセットの実施、リユースカップに代わりマイボトル・マイカップの利用促進や雨水・再生水の利用、ISO14001の運用など、環境に配慮した「エコスタジアム」としての取組を推進します。

##### ① 日産スタジアム(第1種公認陸上競技場)

国内最大の7万2千人を収容できるスタジアムの特性を活かし、サッカー、陸上競技等の国際大会を積極的に誘致・開催します。また、大会以外にコンサートやイベント等を開催し、施設の有効活用を図ります。

##### ② 日産フィールド小机(第3種公認陸上競技場)

##### ③ 日産ウォーターパーク(温水利用型の健康増進施設)

##### ④ 北側園地運動施設(野球場、第1・2運動広場、投てき練習場、テニスコート)



⑤ 新横浜公園内無料施設

(スケボー広場、インラインスケート広場 1・2、バスケットボール広場、草地広場)

⑥ しんよこフットボールパーク(JFA公認人工芝コート)

⑦ 北側園地新規オープン予定施設

(ドッグラン(仮称)、遊具広場(仮称))

さらに、スタジアムを使用するイベントだけではなく、公園全体を使用するような大型イベント(サイクルパークフェスティバル・スタジアム駅伝大会等)の開催、会員制陸上教室「日産スタジアム アスレティックアカデミー(NSAA)」や各種スポーツ教室の開催を通じて、市民の健康づくりと競技レベルの向上を図ります。

また、新横浜パフォーマンスなど地域との連携によるイベントやフリーマーケット、公園の園地を活用した市民提案型の活動(さくら草の水辺をつくろうプロジェクト、ノルディックウォーキングなど)、歳時記イベント(こいのぼり、七夕、餅つきなど)のようなスポーツ以外での公園利用の促進を図るなど、施設を有効活用し、市民がより楽しんで参加できる新規事業の開拓を行います。

## ク 横浜市スポーツ医科学センター

市民の健康づくりの推進・スポーツの振興・競技選手の競技力の向上を目的に、クリニック、大・小アリーナ(体育館)、25mプール、トレーニングルーム、研修室などを併設した施設の運営を行います。

① スポーツプログラムサービス(SPS)

医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスを行うスポーツ版人間ドックを実施します。

② クリニック(内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科)

一般的な内科・整形外科からスポーツ関連の領域に対する診察まで、スポーツドクターなどの資格を持つ医師が診察を行います。また、各科ともに疾病の予防・改善や症状の緩和・消失に運動療法を積極的に取り入れます。

特定健康診査・特定保健指導については、専門スタッフによる組織的なサポート体制の下で、横浜市国民健康保険加入者の受託機関として受入れを行います。

また、平成23年度より実施している内科の「禁煙外来」およびリハビリテーション科の各種スポーツイベント会場に訪問する「出張相談」事業については、平成24年度も引き続き実施します。

### ③ メディカルエクササイズコース(MEC)

内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした医学的運動療法教室を実施します。アリーナ・プールの2コースがあり、医師の運動処方に基づいて、専門の資格を持つ指導員が運動指導を行います。

### ④ 教室事業

「スポーツ教室」では、1年間を通じて体操・水泳・トレーニング教室を開催します。平成24年度は水泳大会や体操発表会の実施を予定しています。

「健康教室」では、1年を4期に分けて「太極拳」・「フラダンス」・「社交ダンス」・「健康ヨガ」・「ピラティス」・「シェイプアップボクシング」などを行います。

また、メタボリック症候群の予防（生活習慣病の改善）として、「減量教室」や、ロコモティブ症候群の予防（運動器機能の改善）トレーニングとしての「ロコモ教室」など、スポーツ医科学に関する最新のニーズを反映させた教室を開催します。

### ⑤ 競技力向上事業

競技選手の競技力向上をサポートするため、地元のプロや実業団のスポーツチームやトップアスリートを中心として、メディカルチェックや各競技に則した専門的な体力測定、スキルチェックなどを行います。

平成23年度から開始した「横浜ビー・コルセアーズ」へのメディカルサポートについては、平成24年度も引き続き実施します。

また、横浜市ジュニア競技力向上事業の一環として、横浜市の各競技団体や中学校運動部のジュニア競技者を対象としたジュニアSPSやジュニア医科学マルチサポートなどを実施します。

### ⑥ その他

- 研修室・会議室、大・小アリーナの貸出
- トレーニングルーム、25m 室内温水プールの個人利用
- 広報誌やホームページを通じたスポーツ医科学情報の提供
- スポーツ医科学に関する研究及び研究成果の学会等での発表
- スポーツセンター等でのスポーツ医科学に関する市民向け講演
- 横浜スポーツ医会との連携による事業企画
- 市体協職員に対するスポーツ医科学研修、運動療法の実践指導

### ケ 屋外・屋内プール

屋内プール6施設（旭、港南、栄、保土ヶ谷、都筑、金沢プール）及び屋外プール2施設（横浜プールセンター、本牧市民プール）の運営を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興、健康増進に寄与します。

幅広い市民層に安全・安心・快適にご利用いただくため、日々の安全管理の徹底に努めるとともに、気軽に参加できる教室やイベントの開催等により利用促進を図ります。

#### ○教室事業

子供の体力向上や健康増進を目的とした水泳教室の充実を図るとともに、空き室を利用してのヨガ等の教室を開催します。

屋外プールでは、夏休み期間中に子供や幼児を対象に体力向上、水への親しみを目的とした水泳教室を開催します。

#### コ テニスガーデン

緑（10面）、根岸（9面内インドア3面）及び泉中央テニスガーデン（11面）において、テニススクールの開催や貸しコートの運営を行い、市民のスポーツの普及振興に努めます。

#### ○教室事業

ジュニア及び一般初級者から上級者など利用者のニーズに合わせたテニススクールを開催するほか、貸しコートの利用促進を図るため試合形式のトーナメントの開催をします。

#### サ 鶴見川漕艇場

鶴見川漕艇場において、ボート・カヌーの利用、貸出し等の管理運営を行い、水上スポーツ・レクリエーションの普及・振興に寄与します。

#### ○教室事業

より多くの市民が気軽に参加できるボート・カヌー等の教室を定期的で開催するとともに、新たな利用層の拡大を図るため周辺環境を利用してのランニングステーションを開設します。

#### シ 横浜みなとみらいスポーツパーク

みなとみらい21地区60街区にある(財)日本サッカー協会公認の人工芝フィールドやクラブハウス内に会議室を備える「横浜みなとみらいスポーツパーク」の運営を行い、市民スポーツの振興を図ります。

フィールドではサッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等の一般の利用を促進するとともに、関係団体や協賛会社との連携、協力を深め、大会・イベント等の企画、誘致を図り、収入増及び利用者増に努めていきます。

また、クラブハウスをランニングステーションとし、みなとみらい地区を走るランナーの拠点としての利用促進も図ります。

#### ○教室事業

フィールドにおいて横浜マリノスと連携して親子サッカー教室を開催します。また、クラブハウス内の諸室を有効に使って、ヨガやピラティスなどの教室事業を行うほか、ランナー向け教室事業も定期的で開催します。

## ス たきがしら会館

プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の練習場や近隣地域住民の方々を対象とした一般利用開放施設としての利用を促進します。

また、各室場を有効活用した幼児スポーツ教室やジュニア野球教室などを展開し、市民スポーツの振興を図ります。

## 7 スポーツ団体等育成事業・協会運営事業【定款第4条第1項第1号、第6号】

### (1) スポーツ団体育成事業

#### ア 交流事業

横浜市のスポーツの分野で活躍・功労のあった方々及びスポーツ関係者との交流促進のため、「新春横浜スポーツ人の集い」を開催します。

開催日：平成25年1月18日(金)

会場：横浜文化体育館

参加者数：1,300人

#### イ スポーツ表彰事業

各種スポーツ大会において、顕著な成績をおさめた個人・団体やスポーツ振興に寄与した個人を表彰する横浜スポーツ表彰を実施します。また、教育委員会表彰等の各種表彰への推薦を行います。

### (2) 協力町村来浜事業

教育施設協力町村児童受入れ事業を実施します。(3町村 参加者190名)

少年自然の家が設置されている、昭和村(群馬県)及び南伊豆町(静岡県)、青少年野外活動センターが設置されている道志村(山梨県)の児童に横浜への理解を深めるための事業を実施します。

### (3) 協会運営事業

#### ア スポーツ振興基金の運用

##### ① よこはまスポーツ振興基金の運用

かながわ・ゆめ国体横浜市実行委員会からの寄付金を基に設置した「よこはまスポーツ振興基金」を横浜市、学識経験者等で構成する運営委員会により運用します。なお、平成24年度をもって、よこはまスポーツ振興基金の運用は終了し、報告書の作成に着手します。

##### ② ワールドカップ決勝戦開催記念基金の運用

横浜市からの補助金を基に、「2002 F I F Aワールドカップ」の決勝戦開催を記念した基金を、横浜市、(社)横浜サッカー協会等で構成する運営委員会により運用します。

#### イ 駐車場の経営

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場（北及び立体）ほか、3箇所（根岸、東神奈川、馬場）の駐車場の経営を行います。

#### ウ 創立 100 周年記念事業の準備活動

平成 41（2029）年の創立 100 周年記念事業等の実施に向け、引き続き準備を行っていきます。

#### エ 危機管理体制の取組

市民が安全・安心・快適に施設利用ができるよう、市民の身近なスポーツセンター等の施設利用に対する日常の危機管理体制を整えるとともに、日産スタジアム及び横浜国際プール並びに横浜文化体育館等のイベント開催時の危機管理体制を強化整備します。

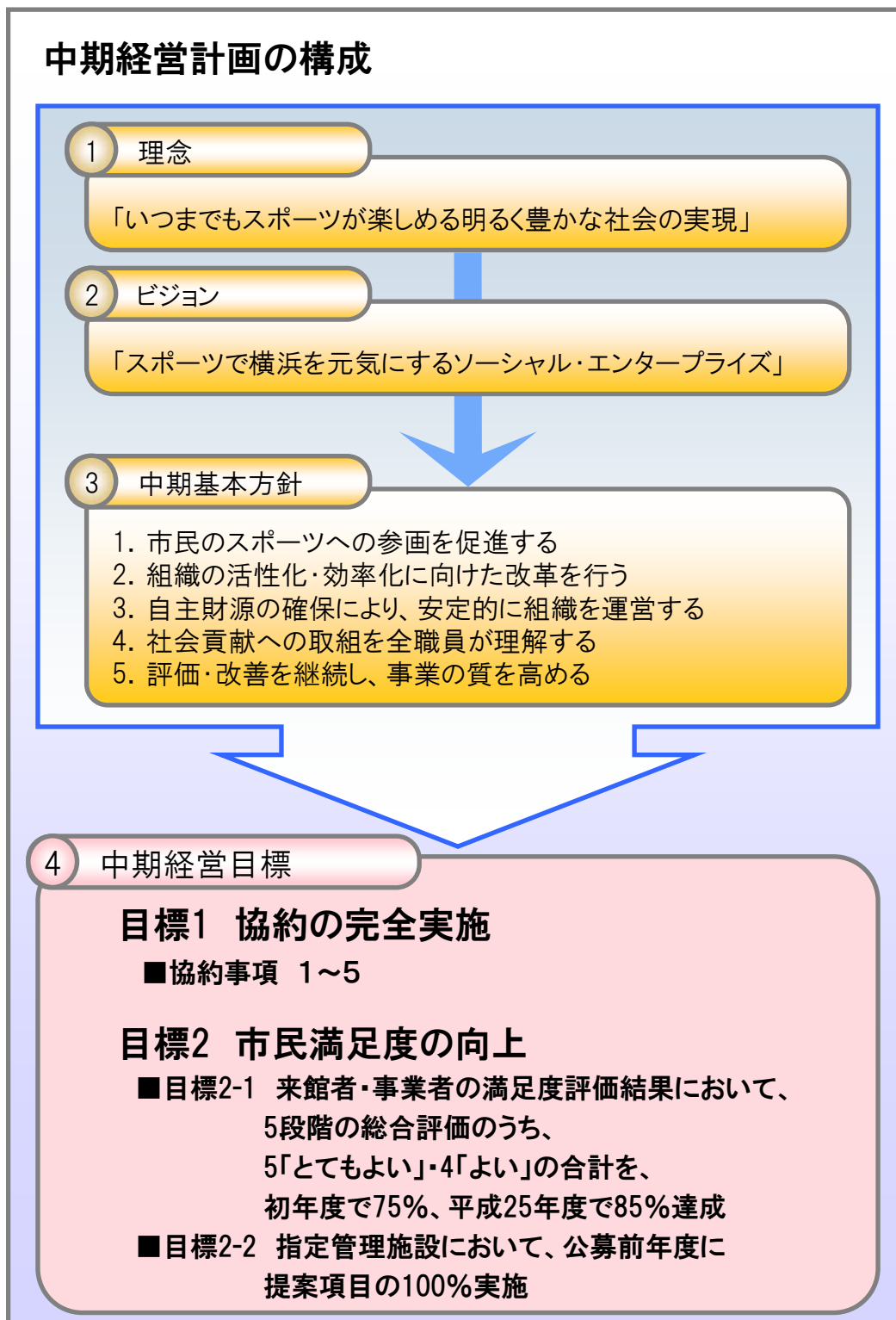
## IV 協約

横浜市との間で締結した協約の達成は、当協会の活動目標の基本となるもので、必達目標となります。

【協約事項1】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	スポーツ大会・イベント、教室事業等の参加者数を含む横浜市体育協会が管理運営する施設利用者数を毎年1,000万人以上にします。	大会・イベント等参加者数及び施設利用者数	10,388,000人	10,636,000人	10,776,000人
【協約事項2】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	市民主体の地域スポーツ活動を支援することで事業を展開する団体数を200以上にします。	活動団体・グループ数	160団体	183団体	208団体
【協約事項3】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	スポーツ情報に関するホームページ総アクセス件数を3,100万以上にします。	ハマスポどっとコム アクセス数 (0.6)	8,700,000件	9,500,000件	10,500,000件
		体協HP アクセス数 (0.4)	19,307,000件	20,273,000件	21,287,000件
【協約事項4】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
財	経常収益に対する自主的活動収益割合を59%以上にします。	経常収益対自主的活動収益比率	57.00%	58.60%	59.30%
【協約事項5】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
業	自主自立化に向けた人材育成を進め、部長以上の固有管理職を4人以上にします。	固有管理職(部長以上)数	2人	3人	4人

## V 中期経営計画

第2期中期経営計画では、第1期中期経営計画の総括や組織運営上の課題を踏まえ、以下の基本方針を掲げ、これら方針に沿った事業活動により中期経営目標の達成を目指します。









公益財団法人横浜市体育協会  
〒231-0015  
横浜市中区尾上町6丁目81番地  
ニッセイ横浜尾上町ビル内  
TEL 045-640-0011(代表)  
FAX 045-640-0021